

〈 総括 〉

開設より3年が経過した。

入居された利用者の方については人間関係が構築されたり、自分の居場所が出来たり、役割などを持った生活を送ったり、それぞれの方の生活リズムが出来てきている。30年度も利用者1人ひとりと深く関わり出来る事、出来ないことを見極めその人らしい生活が送れるように関わって行く。

稼働率については99.1%と目標としていた98%を上回り達成する事が出来た。その要因として入居者の入れ替わりが少なく、入院日数、空床日数を減らすことができたことが挙げられる。入院日数については1名の方が骨折、脳梗塞の方が1名あった。日々の関わりはもちろん、記録をダブルチェックし変化に気づき、すぐに対応できるように行きたい。また、看護師、嘱託医と情報を共有し入院を防げるよう今後も対応して行く。空床日数については入居者の入れ替わりが少なかったこと、新規利用者の入居までの間隔がスムーズだった為、減らす事が出来た。しかし、今後の課題として待機者がいない為、待機者を増やす取り組みを行い、目標稼働率98%を目指す。

感染症については発症することなく経過した。30年度も手洗いうがい加湿などに気を付け感染症防止に努めて行く。

職員の資質の向上については基礎介護50を基に勉強会を実施した。担当となった職員については深く学ぶことはもちろん相手に伝えることを含め勉強になった。30年度も継続し実施して行く。また、必要に応じて外部の研修など目的を明確にし、参加し学ぶ機会を持って行きたい。

各職種目標について

(1) 介護職員

- ・基礎介護50を基に勉強会を行い日々のケアに繋げて行く事が少しずつではあるが出来てきた。30年度も継続して行く。
- ・サービス担当者会議についてはケアマネが中心となり定期的開催することができ、一人ひとりの変化を速やかにプランに反映することができた。30年度も定期的開催し一人一人の変化に合わせてプランを変更して行い、周知して行く。

(2) 看護職員

- ・内服薬管理や日々の関わりやバイタルチェックを通し安心・安全な日々が送れるよう関わる事ができた。30年度も継続した関わりをして行く。
- ・嘱託医と情報を密にし、利用者の状況の変化に速やかに対応することが出来た。30年度も継続して行く。

(3) 生活相談員

- ・現場に入り利用者との関係づくりをすることが出来た。今後もより深く関われるよう関わって行く。
- ・施設サービス計画作成のためケアマネ、看護師、介護員と情報を共有し利用者1人ひとりの状況に合わせてプランを作成することが出来た。今後は、もっとご家族の意向を反映させて行きたい。
- ・新規利用者がスムーズに入居出来るよう待機者の家族の方と情報交換を密にして行きたい。

排泄係

「一人ひとりにあった快適な排泄を目指す」

- ・パット使用状況を把握しコスト意識をもって取り組んだが、利用者の重度化により平均介護度も上がりパットの變更でコストが上がってしまった。30年度は排泄表から排泄の時間帯を分析し、トイレでの排泄を意識しパットを汚さないよう努めて行きたい。
- ・必要に応じて尿測を行いその方に合ったパッドを提供することが出来た。

環境係

「家庭的な環境作りを意識し、利用者の方が居心地よく生活して頂けるよう環境を作ります。」

- ・行動計画については概ね行うことが出来た。

行事係

「利用者の方が主体となり楽しむことの出来る行事を目指します」

「家族、地域との交流を深める場の提供を目指します」

- ・夏祭り・年忘れ会を通し利用者の方、家族が楽しむことが出来たと思う。また、夏祭りについては地域の方も参加し交流を持てる場となった。30年度もこうした関わりを大切にしていきたい。

リネン庫係

「物品の使用状況を把握しコスト削減を目指します」

- ・職員会議で物品の使用状況を報告し、使用増になったものについては分析を行いコスト削減に意識して取り組んでもらうよう周知していた。30年度も継続しコスト削減に努める。

地域交流

- ・「裏めし屋」を開催し2年と7カ月が経過した。開催日の変更、また、調理員不足によりバイキングでのメニューが提供できないこともあったが、継続して実施し、町民の方に利用していただく事が出来た。30年度は地域密着型の事業所が中心となり委員会を作り進めていきたい。

防災・安全管理

- ・非常通報装置、消火栓等防災関連機器の操作方法について周知を行い、訓練を通して実際に動きを確認した。29年度も訓練を積み重ねていきたい。

職員の資質向上

- ・基礎介護50をもとに職員が講師となり勉強会を行うことができた。30年度も継続して行き知識を深めていく。OJTについては、30年度も根拠を現場で伝えていくことを継続していく。

運営推進会議について

- ・グループホームむかし館・くつろぎ、地域密着型特別養護老人ホームこまくさ苑、小規模多機能型居宅介護まつばの3事業所合同で行ったが、定期的を開催することができず、4回の開催となってしまった。29年度は年間計画をもとに担当となった主任が責任をもって進めていくことで年6回の開催を目指し、委員会での話し合いの中での助言等をサービスの質の向上や事業所への運営に反映させていきたい。

職員研修・勉強会

日程	内 容	参加人数
	嚥下と肺炎について	15名
	水分と脱水について	13名
	褥瘡について	13名

こまば会議

	各係からの報告。リーダー会議。勉強会。連絡事項などは毎月話し合っている。 上記以外の検討事項
平成29年4月7日	平成29年度各担当について
平成29年5月12日	検討事項なし
平成29年6月2日	検討事項なし
平成29年7月7日	検討事項なし
平成29年8月4日	夏祭りについて
平成29年9月1日	検討事項なし
平成29年10月6日	夏祭り反省について
平成29年11月10日	年忘れ会について

平成29年12月1日	年忘れ会反省
平成30年1月5日	検討事項なし
平成30年2月2日	検討事項なし
平成30年3月16日	検討事項なし

利用者状況報告書

平成30年3月31日現在

人数	男性	4	女性	15	合計	19	最高齢	100	最少齢	72	平均年齢	86	歳
平成29年度 月別入居稼働状況													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
基本日数	600	620	600	620	620	600	620	600	620	620	560	620	7300
退居者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3
新規入居者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
退居→入居空白日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	17	18
入院者数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
入院日数	0	0	0	14	0	0	0	0	0	19	14	0	47
外泊者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外泊なかび日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計稼働日数	600	620	600	606	620	600	620	600	620	600	546	603	7235
稼働率	100.00%	100.00%	100.00%	97.74%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	96.77%	97.50%	97.26%	99.10%

平成29年度 月別入院日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成29年度	0	0	0	14	0	0	0	0	0	19	14	17	64

平成29年度 月別通院回数(本人が医療機関に受診した分。看護師のみの報告は含まない)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成29年度	5	6	4	5	6	10	6	6	4	8	3	3	66

平成29年度 退居者の内訳

退居理由	長期入院見込	死亡	3か月経過	施設変更	在宅復帰	胃瘻増設により	合計
人数	0	2	0	1	0	0	3

平成29年度 新規入居者の内訳

入居前の居所	病院	在宅	老健	他の特養	有料ホーム	GH	合計
人数	0	1	1	0	0	0	2

平成29年度 各月末現在の入居者介護度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
要介護度 1	5	5	4	4	4	4	4	3	3	2	2	2	6
要介護度 2	4	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	5
要介護度 3	11	11	10	10	10	9	9	9	9	10	10	9	9
要介護度 4	0	1	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	1
要介護度 5	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
月末人数	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	19	20
平均介護度	2.300	2.400	2.600	2.600	2.600	2.650	2.650	2.850	2.850	3.050	3.050	3.053	2.600

